

# 教育委員会だより

第22号 (平成30年11月~31年3月)

発行者  
池田町・養基組合教育委員会  
池田町六之井1468-1  
tel.0585-45-3111 fax.0585-45-8314  
e-mail yakuba@town.gifu-ikeda.lg.jp

## 新しく始まる プログラミング教育

2020年度から小学校ではプログラミング教育が始まります。コンピュータを使いプログラムを作成し、コンピュータを意図通りに動かす体験を通して、論理的思考力(プログラミング的思考)を育みます。

私たちのまわりにはコンピュータが内蔵されたものがたくさんあります。それらをどのように使いこなすかを論理的に考えることによって、よりよい生活や人生を築く姿勢を子どもたちに育んでいきます。

池田町でも先生方が研修会を行い、年間計画を立てています。

2020年度に向け、町の企画課や専門家の指導を受けながら共通理解をし、準備を進めています。



## 県教育委員会連合会 研究総会に参加して

11月9日、美濃市で行われた県教育委員会連合会研究総会に参加しました。

総会の冒頭、前養基組合教育委員の駒月清さんと前池田町教育委員の野網昭さんが教育功労者として表彰されました。

総会後には、経済産業省サードパス政策課長兼教



県教育委員会連合会研究総会の開会の様子

育産業室長の浅野大介氏から「未来の教室のデザイン」と題して講演がありました。経産省では第4次産業革命を乗り切るため、教育のあり方を変えて

いかなければならないという理由から、教育サードパス分野が強化されつつあり、海外ですでに始まっているこの動きについて実例が紹介されました。併せて、日本で実践されている創造性を育む「プロジェクト学習(STEM/STEAM)」の実例についても紹介されました。

また、白川村教育委員会により「義務教育学校白川郷学園の一年(夢・ひとりだち・応援)」と北方町教育委員会により「教育業務支援アシスタントの効果的な活用」についての発表もありました。

## 町教育センター研修会を実施

12月12日、町教育センター研修会で可見市の今渡北小と蘇南中を訪問しました。池田町・養基組合教育委員会と南部小中学校長会総勢15名で授業を参観し、主に「外国籍児童生徒への対応状況」「二学期制の実施状況」について、2校の先生方

から説明を受けました。

児童数約900人、2割強が外国籍児童、約20の幼稚園・保育園からの進学等、が特徴の今渡北小では、「レベルの差は非常に大きい、感動・笑顔の数は非常に多い」「国籍の違いでの子どもの喧嘩はほとんど無い」「修学旅行等で物おじしない」「二学期制になって、先生が子どもと向き合う時間が増え、子どもたちの笑顔が多くなった」という状況を聞くことが出来ました。

また、生徒数約1000人、2割強が外国籍生徒という蘇南中では、「外国籍生徒について、在籍学級での学習が可能になるまで、国際学級で日本語指導をしている」「外国籍生徒の約85%が定住を希望しており、学習意欲が高い生徒が多い」「国籍の違いでの生徒の喧嘩はほとんど無い」「一学期制になって、通知表の作成が中体連の対応時期に重ならなくなる等、先生が生徒へ向き合う時間が増えた」ということでした。

2校とも非常に丁寧な対応をしていただき、有意義な研修でした。



今渡北小での授業参観の様子

### 平成30年度成人式を開催

平成30年度成人式が1月13日、町中央公民館で行われ、新成人280人が出席しました。

当日は比較的暖かな日となり、色とりどりの晴れ着に身を包んだ新成人が、お互い記念写真を撮りあつて、スマホなどで見せ合う姿が多数見られました。

式典の司会進行は新成人の臼井菜海さんから実行委員が行い、岡崎町長からは「池田町は、全国のどの自治体にも負けない、多様な魅力と活気、底力があります。地元を盛り上げようと頑張っている人も、日本各地に散らばっている人も、その知恵と力を池田町のために貸していただき、この池田町をさらに盛り上げていただけることを切に願っています」と式辞がありました。

新成人代表の竹中方智さんは「私たちは決して一人ではありません。これからも嬉しいこと、心痛むこと、様々なことが起こるでしょう。みんなで喜び、悲しみ、立ち向かう、そんな世の中を築き上げるべく、私たちは社会



色とりどりの晴れ着に身を包んだ新成人

の一員として、日々精進していきたいと思えます」と二十歳の誓いを力強く述べ、平成最後となる式典を締めくくりました

### 英会話を楽しむ温知っ子

1月24日、西濃地区小学校外国語スタートアップ研修会が温知小で開催されました。2020年度から外国語(英語)が小学校5・6年生で正式に教科の中に位置付けられ、1週間に2時間の授業が行われます。これに先駆け、温知小が西濃教育事務所の研究指定を受け、本年度1年間の研究成果が発表されました。

この日は、西濃地区の全小学校から外国語担当の先生方約70名が参加、5・6年生の外国語の授業を参観されていました。小学校の先生方にとっては、これまでの外国語活動の指導と教科としての外国語の指導にはかなりの違いがあると思います。そのため、熱心にメモをとったり、子どもたちの会話に耳を傾けたりされる先生方が多くみられました。

町内の小学校の外国語の授業は、学級担任とALT(外国人語学講師)、または、学級担任と英語活動支援員が協力し合い、

継続的に指導を行っています。こうした指導の長年の積み重ねが先生や仲間との英会話を楽しくむ姿として現れていました。

今回の研修会では、文部科学省が作成した新教材の



学級担任とジェームズ先生(ALT)による6年生の授業

活用方法に関する意見交流や指導方法のワークショップが行われました。

今年12月10日には2年目としての研究の成果が発表される予定です。長年にわたって外国語活動に取り組んできた池田町・養基組合の小学校の代表としての成果を子どもの姿で発表されることを期待しています。

### 15年後の私 (キャリア教育 夢交付金事業)

今年度より、キャリア教育で培った体験、知識から、卒業を控えた中学3年生270人に、「15年後の私」と題して、夢を実現するための計画や自分がどんな大人になっているかを想像した自分に向けた手紙を書いてもらいしました。

手紙は、2月3日に生徒代表2人により岡崎町長に引渡が行われました。引渡に来てくれた2人は「社会に役立つ技術を構築するエンジニアになりたい」「人に優しいまちづくりをしたい」など意気込みを語ってくれました。希望を語る2

人のはにかんだ笑顔ときらきらとした目を頼もしく感じました。

手紙は生徒の皆さんの成人式においてお返しできるような役場にて大切に保管されます。



町長へ手紙を渡す中学生の代表

夢に向かって新たな世界に旅立った生徒の皆さんには町より一万円分の図書券が贈られました。

### 揖斐郡教育委員研修会を実施

2月4日、揖斐郡教育委員連絡協議会の研修会が池田町内で実施され、池田町内にありながら各教育委員もほとんど見学したことのない学校施設、文化施設、工場を巡り研鑽に務めました。

具体的には、学校教育現場の一つである「サンビレッジ国際医療福祉専門学校」（白鳥）を訪問し、自立と尊厳を目指した「わかった」から「できる」介護教育の現場を見学しました。

その後、彫刻家の長澤さんが私財で運営される「極小美術館」（草深）を訪問し、現代美術の展示を観ながら作家の皆さんといろいろな話をしました。続いて、池田町内でも撮影し2月22日からロードショーが行われた映画



サンビレッジ国際医療福祉専門学校で介護教育の現状を聞きました

「母を亡くした時、僕は遺骨を食べたいと思った」の原作者宮川サトシさんの漫画原画展を土川商店(宮地)で見学させていただきました。また、健康

補助食品医薬品メーカーの「アピ株式会社」（小牛）では、健康飲料の製造ライン及びソフトカップセルの製造工場を見学しました。製造工場では厳しい衛生管理が行われ、清潔で安心できる製品が出荷されていました。参加した教育委員も教育現場、文化施設、産業等の造詣を深めることができました。

### それでも前へ 〇〇を持ちつづけよう

2月8日、陸前高田市立気仙小の金野美恵子校長が八幡小に来校されました。

気仙小と八幡小との交流は、平成24年に八幡小に勤務されていた先生が陸前高田市にボランティアに行き、「学校としても何かできないか」ということから始まりました。その後、児童に働きかけベルマークの収益で気仙小が希望する品を送るといふ形で今年度まで進めてきました。



八幡小児童のメッセージを気仙小へ

気仙小も平成30年12月に新校舎が完成したので、今までのお礼のため八幡小を訪問され、震災前後の町の様子や現在の児童の姿等についてお話をされました。

岩手県の方言の話から始まり、震災前と後の町の様子を写真で紹介されました。震災時に山に避難し、近くの神社やお寺に分宿した児童に担任の先生が言われた「今は食料も水も少しありません。しかし、温かな朝日は必ず昇るから」という言葉が印象に残りました。また、震災後のボランティアの皆さんの姿を見て、気仙小の児童は「高田松原を復興させるために草取りをした」等、地元への強い思いをもったことを話されました。最後に、気仙小の児童と八幡小の児童の手紙を交換し、集会が終わりました。保護者や地元住民も参加し、有意義な集会でした。

### ニュージージャーランド派遣研修

「Let's challenge Let's speak」を合い言葉に中学生10名、高校生5名と2月15日から2月23日までの9日間、第4回海外派遣研修を行いました。

中学生はコプハム中学の留學生用の英語クラスで研修を行い、中国、台湾、タイ、インドネシア、インド等からの留學生と一緒に先生の問いかけに対してこたえる事を学習しました。留學生コースの生徒のほとんどが長期単身留学（ホームステイ）で学習しているとのこと、進んで会話し授業も元気がいっぱい楽しい雰囲気でした。また、バディ生徒のクラスに入り授業を体験し、最初は生徒たちも慣れない環境に戸惑っていたようですが、クラスの中に溶け込み授業を受けていました。

高校生は、ヒルモートン校で研修を行い、外国語授業の日本語専攻クラスにて日本の紹介をしました。在學生は、他の外国語専攻としてスペイン語、中国語、韓国語

等を最終学年までに学ぶとのことでした。人気は、中国語とスペイン語とのことで少し驚かされました。

また、学校授業の他に福祉施設を訪問し入所者と交流を深めるとともに、ニュージーランドの歴史について直接入所者から聴いたりしました。

短い期間でしたが天候にも恵まれ、グラウンドでの体育ではランニングやクリケットのルールに戸惑いながらも元気に交友を深めることができました。



コブハム中学での授業の様子

子どもたちが、この派遣事業を通じさらにコミュニケーション能力を高め、将来社会人として活躍してくれることを期待します。

### 名古屋米国籍領事館

#### 首席領事の訪問

シェイファー先生お帰りのさい。27年前、先生は池田中に外国人語学講師として2年間勤務されました。その後米国に戻り、池田中でも時々生徒に話されていた外交官になるという夢を、幾度かの挑戦の末叶えられました。世界各国を回り、2017年8月に名古屋米国籍領事館の首席領事として来日されました。

池田町のことを、そして初めて教壇に立った池田中の



27年ぶりに教壇に立たれたシェイファー先生

ことをとても懐かしく思い、日本の故郷と思っ  
ていてください  
ます。  
この度やっと  
その訪問が実  
現しました。3  
月1日、シェイ  
ファー先生は池  
田中で生徒たち  
の授業を参観し、

給食も一緒に召し上がりました。生徒たちへの講話では、自身の経験をもとに、大きな夢を持ってチャレンジすることの大切さをお話しされました。また、生徒たちは全員で校歌を合唱しましたが、先生もフレーズをしっかりと覚えておられ歌われたのは感動的でした。

授業参観での英語のやりとりや日本語で丁寧に質問にお答えいただいたことは、生徒たちにとって素晴らしい体験になりました。

#### ご寄付 ありがとうございました

池田町在住のイラストレーター「ずかんくん」から「ラララさめのくに」という表題の図鑑を、池田町・養基組合の5つの小学校にご寄付いただきました。ありがとうございました。興味をもって大切に活用します。



#### 編集後記

梅の花が終わり、桜の花の季節になりました。大津谷堤防道路のロウバイも少し大きくなり、1・2月には黄色の花がずいぶん目につきました。立派なロウバイ並木になる日が近いと思います。霞間ヶ溪のシバザクラも増えてきました。池田山麓花街道の整備が進むのが楽しみです。

入学式が始まります。この時期は、還暦をとうに過ぎた者にとっても、どこか浮き浮きとする良い季節です。新しい一年生が元気に登下校する姿を心待ちにしています。

本たよりについて、お気づきの点があれば、お知らせください。

編集担当 河村安泰 西川 昭

#### 教育委員会の主な活動報告 平成30年12月～31年3月

日付	活動	備考
12月17日	池田町・養基組合合同教育委員会	中央公民館第3研修室
1月13日	池田町成人式	中央公民館大ホール
1月18日	揖斐郡教育研究総会	中央公民館大ホール
1月18～20日	図工作品展・ふれあい作品展	中央公民館学習棟
2月4日	池田町・養基組合合同教育委員会	中央公民館第3研修室
〃	揖斐郡教育委員連絡協議会	町内施設見学
2月28日	池田町・養基組合合同教育委員会	中央公民館第3研修室
3月5日	池田中学校卒業式	池田中学校体育館
3月8日	教育委員会だより編集会議	教育センター
3月25日	小学校卒業式	各小学校体育館
3月28日	教職員離任式	中央公民館第1会議室